

# 第3回代表者会議で話し合われたこと

## 運行計画案の方向性を話し合いました

- 運行日は、月～金の平日。
- 運行時間は、朝6時～夜7時で、前日までの予約に応じて運行。
- 秋保町民も、町外に住む家族も、観光客も、誰でも利用できる。
- 運行区域は、秋保町内全域。
- 路線バスとの競合を避けるため、「野尻・滝原・森安・野口（上ノ原バス停以西）」と、「石神・竹ノ内・西台・国久・館」の2地区を、「発着エリア」とし、出発か到着のどちらかが発着エリアでなければならない。
- 運賃は、小学校区内は200円、隣の学区までは400円、馬場から湯元までは600円の3段階。
- 小学生以下は半額に割引。
- 70歳以上・障害者等は、100円～150円程度で利用できるよう割引。
- **まずは来年1～3月の3か月間、試験運行を試みることを目指す。**

※上記内容で決定ではありません。引き続き次回の会議で協議します

## 会議で出された意見の一部を紹介します

- 子どもから高齢者まで、幅広く利用されやすい内容にしたい
- 午後の便の受付を当日何時まで受け付けるか、観光客のことを考えると11時までは受け付けてほしい
- 電車の遅延で遅れそうな場合の変更が可能かなど、予約時の細かいルールの検討が必要
- 境野にも、羽山など路線バスが通っていない地区があるので、今回の試験運行では難しくても、次回の試験運行では対応を
- 路線バスとの競合を避けるため「発着エリア」の制限があるが、路線バスが走っていない時間は制限を外しても、路線バスとの住み分けを図れるのでは
- 運行を始めれば色々な改善点が必ず見えてくるので、まずは3か月間やってみて、その実績をもとに検証しよう

## ☆☆次回 第4回代表者会議について

次回の代表者会議は10月21日に開催し、今回話し合われた素案をもとに、運行計画の詳細を検討するほか、アンケート実施地区における報告会の実施や、地域交通の名称について協議します。話し合われた内容は、次号の考える会通信でお知らせします。

# 考える会通信

発行：令和2年（2020年）  
10月1日

運営主体：  
秋保地区の交通を考える会  
会長 及川 純一  
電話 399-2133

支援機関：  
仙台市 公共交通推進課  
電話 214-8359

06号 発行：秋保地区の交通を考える会  
支援機関：仙台市 公共交通推進課

## いよいよ、地域交通の運行計画策定作業がスタート！



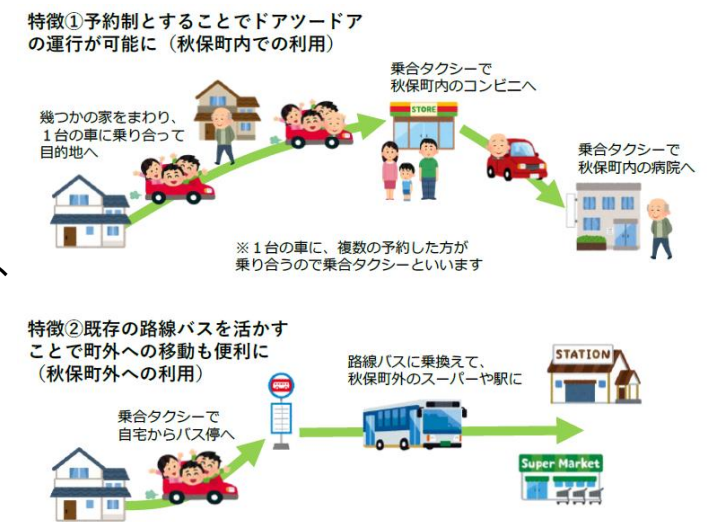
7月に開催した代表者会議の様子

8町内会を対象に、7月に実施したアンケート調査では、配布した世帯の57%にあたる、135世帯316人から回答が寄せられ、うち235人が、新たな移動サービス導入が必要と回答するなど、非常に高い関心と期待があることが分かりました。

そこで、9月16日の代表者会議では、アンケート結果の報告をもとに、運行計画の内容について協議しました。協議の結果、予約に応じて子どもの通学や高齢者の買い物・通院に利用できる、地域交通の運行計画案を策定することになりました。

秋保地区の交通を考える会では、現在路線バスが走っていない空白地区（石神、竹ノ内、西台、国久、館）と、路線バスのサービスレベルが低い地区（野尻、滝原、野口）の、8つの町内会をメンバーに加え、来年からの試験運行開始を目指して現在活動しています。

### 図：地域交通の運行イメージ



## 9月16日 第3回代表者会議の議題

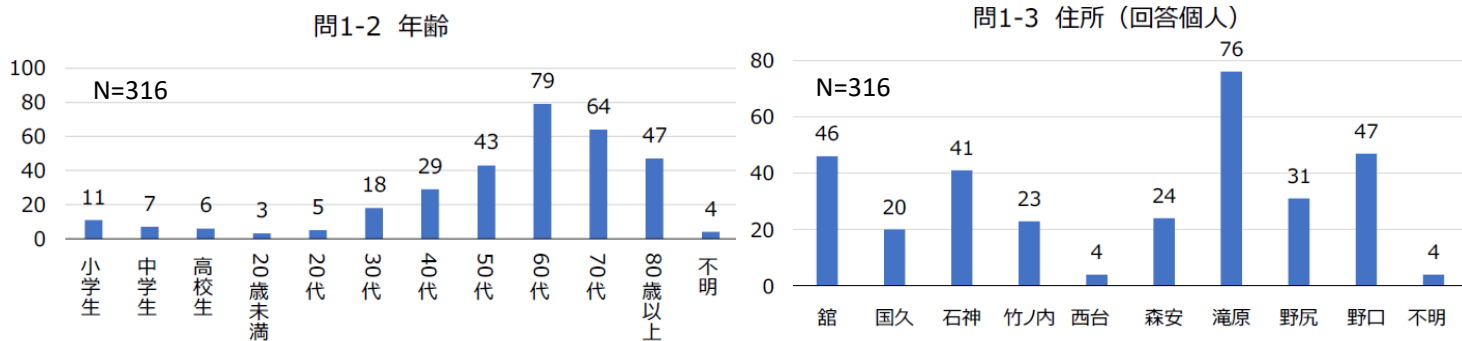
- アンケート報告および運行計画検討案
- 会則改訂案および役員会、代表者会の人事案

※見開きにアンケート結果の概要を掲載しています

# アンケート調査結果の概要をお知らせします

●アンケートでは、60代以上の方から多くの回答をいただきました。

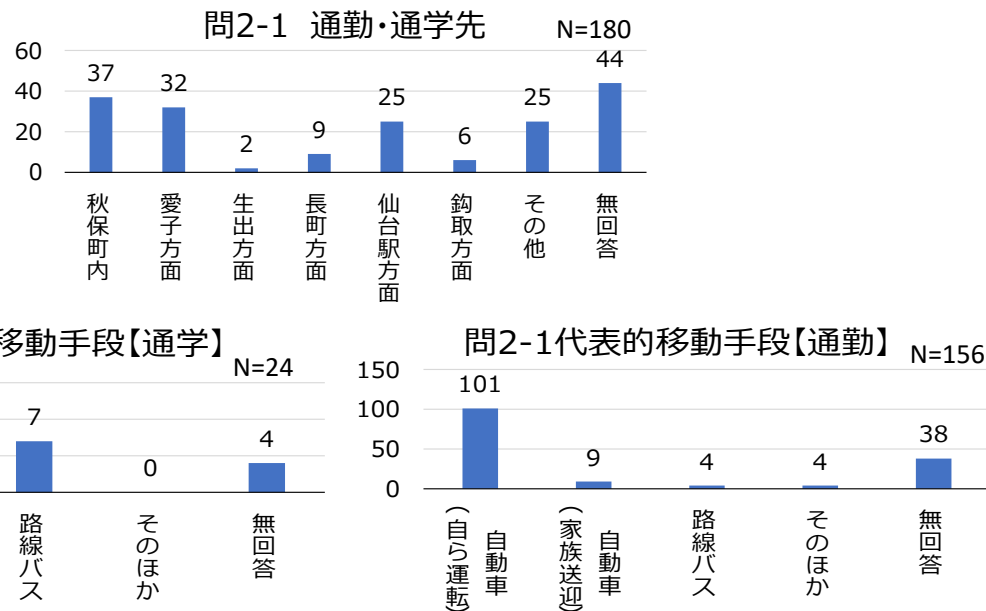
●8地区で、合計316人から回答がありました。



## 【通勤・通学の状況】

●通勤・通学先は、秋保町内、愛子方面、仙台駅方面が多いことが分かりました。

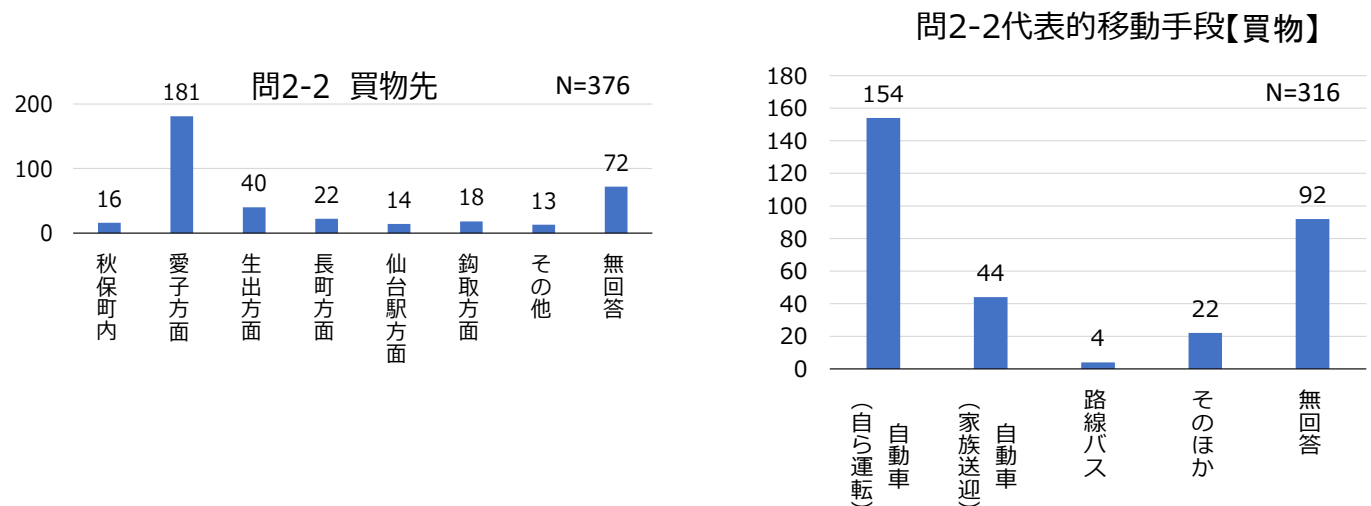
●通勤では自ら運転している人がほとんどで、通学では家族に送迎されている人が多いようです。



## 【買物の状況】

●買物ではほとんどの人が愛子方面に出かけていることが分かりました。

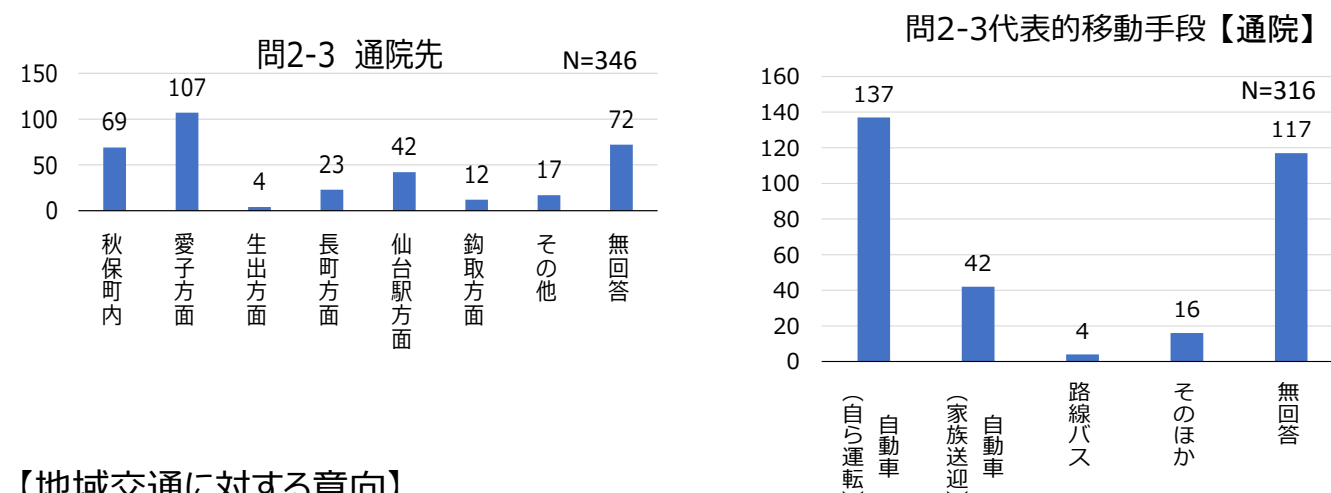
●ほとんどの人が車を自ら運転して出かけていますが、家族に送迎されている人も44人いました。



## 【通院の状況】

●通院先は、愛子方面が最も多いですが、買物と比べると各方面に分散しているようです。

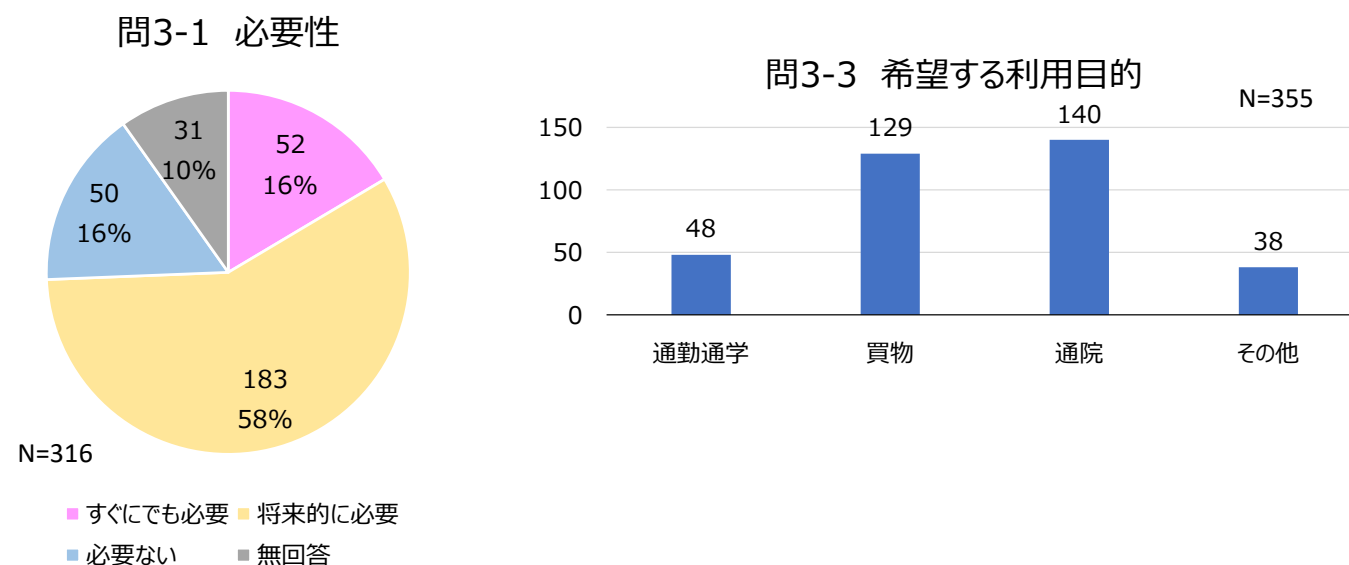
●車を自ら運転する人が、他の目的と同様に多いことが分かりました。



## 【地域交通に対する意向】

●乗合タクシーがすぐにでも必要、将来的に必要、という回答が半数以上を占めています。

●通院での利用希望が最も多く、次いで買物での利用希望が多いことが分かりました。



●買物、通院の往復には、8時～16時の運行でおおむね需要に対応できるようです。

●通勤・通学には、6時～19時の運行でおおむね需要に対応できることが分かりました。

